

研究助成の概要. II

- ① 3D-PLATEAU・点群データを活用した自動運転に資する DRM-DB の高度化と道路の安全快適性指標の開発
- ② 公立大学法人大阪 大阪公立大学工業高等専門学校 総合工学システム学科 都市環境コース
- ③ 講師 白柳 博章
- ④ <https://www2-c.ct.osakafu-u.ac.jp/staff/>

1. 研究分野及び題目

(Ⅱ－５) デジタル道路地図の利活用に関する研究

2. キーワード

3D-PLATEAU, 点群データ, 自動運転, DRM-DB の高度化, 道路の安全快適度指標

3. 研究内容

(1) 研究の目的

防災・減災のまちづくり、コンパクトシティやスマートシティといった昨今求められている防災計画や都市・交通計画の課題において、都市空間を立体的に把握・表現し、それに基づき計画を立案することが極めて重要である。そこで既存の DRM-DB に国交省の 3D-PLATEAU や点群データ等を融合させることにより、DRM-DB の高度化を行うとともに、自動運転の支援を含む道路の安全快適度指標の提案・開発を行うことを目的とする。

(2) 研究のゴール

DRM データには、道路データの他、施設データ・標高等の 3D データ・道路冠水想定箇所等の災害ハザードデータといった多種多様なデータがある。それらと 3D-PLATEAU や点群データ等を融合させ、DRM-DB の高度化ならびに道路の安全快適度指標の開発を行い、自動運転普及に資する道路データベースの構築を行うとともに、3D 空間軸＋時間軸から見た、新たな都市交通・まちづくり・防災計画の立案ならびに視点の発掘を行いたい。

